

第 45 回マイコトキシン研究会学術講演会

- ・ 開催日 平成 10 年 1 月 9 日 (金曜日)
 - ・ 開催場所 国立医薬品衛生研究所講堂 (本館 3 階)
-

受付 9 : 45 ~

会長挨拶 10 : 10 ~ 10 : 15

一般講演 10 : 15 ~ 12 : 00

座長 小山清孝 (明薬大)

- 1 植物内生菌 *Balansiacyper* の代謝産物の研究 (3)
川原信夫¹⁾、関田節子¹⁾、河合賢一²⁾、佐竹元吉¹⁾ (国立衛研¹⁾、星薬大²⁾)
- 2 アフラトキシン生合成経路における averufin から versicolorin B までの酵素的変換
矢部希見子¹⁾、千早直美¹⁾、田中健治¹⁾、浜崎敬²⁾ (食総研¹⁾、鳥取大農学部²⁾)

座長 高橋治男 (千葉衛研)

- 3 Production of C-type *Fumonisin*s produced by *Fusarium oxysporum* CAR
Jeong-Ah Seo
(Department of Agricultural Biology , College of Agricultural and Life sciences, Seoul National University)
- 4 中国、新疆上壤中の *Aspergillus* について
堀江義一¹⁾、吹春俊光¹⁾、西村和子²⁾、王 端礼³⁾、李 若瑜³⁾、李冬梅³⁾、⁴⁾、
阿布利孜⁴⁾
(千葉県立中央博物館¹⁾、千葉大学真菌医学研究センター²⁾、北京医科大学真菌和真菌病研究中心³⁾、新疆医学院第一医院⁴⁾)

座長 田代文夫 (東京理大基礎工学部)

- 5 Epurprin A , B , C による単離肝ミトコンドリア呼吸阻害作用
河合清、北川章
(中京女子大健康科学部)
- 6 HL-60 細胞に於ける Luteoskyrin および Ochratoxin A 誘導 apoptosis の超微形態について

井原智美¹⁾、山本津貴子¹⁾、菅又昌雄¹⁾、奥村弘樹²⁾、野方南恋²⁾、上野芳夫²⁾
(栃木臨床病理研究所¹⁾、東京理科大薬学部²⁾)

7 T-2 Toxin 誘導アポトーシスにおける ICE family proteases の活性化

奥村弘樹¹⁾、吉野直人²⁾、小笠原由樹子¹⁾、中村和美¹⁾、井原智美³⁾、菅又昌雄³⁾、武田健¹⁾、上野芳夫¹⁾
(東京理科大薬学部¹⁾、東京理科大基礎工学部²⁾、栃木臨床病理研究所³⁾)

昼休み 12 : 00 ~ 13 : 00

総会 13 : 00 ~ 13 : 30

特別講演 13 : 30 ~ 14 : 30

司会 赤尾三太郎 (千葉大真核微生物研究センター)

「最近の発癌性評価法について」 高橋道人

(国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター 病理部長)

話題提供 14 : 30 ~ 15 : 15

司会 一戸正勝 (東京家政大)

「第5回ヨ-ロッパフザリウム 세미나-報告」 芳澤宅實 (香川大)

「病害抵抗性作物の開発の現状」 山根精一郎 ((株)日本モンサント)

「Fusarium 真菌症に関する近年の話題」 杉浦義紹 (理科大)

休憩 15 : 15 ~ 15 : 30

ワークショップ 15 : 30 ~ 17 : 00

司会 豊田正武 (国立衛研) 田中健治 (食総研)

「マイコトキシンによる食品汚染実態とリスクに関するワークショップ」

1. 食品中のアフラトキシン汚染 田端節子 (都衛研)
2. 国産ムギ類のトリコテセン汚染実態とその特徴 芳澤宅實 (香川大)
3. トリコテセンによる感染症抵抗性低下 小西良子 (国立感染研)
4. オクラトキシン A のヒト血清残留と危険度評価 上野芳夫 (理科大)
5. マイコトキシンを巡る行政の現状 池田年仁 (厚生省食品保健課)
6. 総合討論 (予定)

閉会の辞

懇親会 17 : 30 ~ 18 : 30 国立医薬品食品衛生研究所 食堂 (本館裏 図書厚生棟 1 階)
参加費 2,500 円